

学校管理下の部活動における熱中症の死亡事故 全事例
【事故発生年度：1983年度～2010年度(28年分)】

最終更新日 2012年7月5日

作成者 内田 良 (名古屋大学大学院教育発達科学研究科 准教授)
 ウェブサイト「学校リスク研究所」 http://www.geocities.jp/riris_presents/

以下の事例は、学校管理下の部活動中に発生した熱中症による「死亡」の事故事例です。次の点に留意してください。

- ①事例は、(独)日本スポーツ振興センターがほぼ毎年発行している『学校の管理下の死亡・障害事例と事故防止の留意点』から抽出したものです。ただし、いくつかの情報については、新聞等のメディアから拾い出しています。
- ②「事故発生年度」というのは、厳密にいうと、(独)日本スポーツ振興センターから「死亡見舞金」が支払われた年度です。したがって、死亡見舞金の支払いが年度をまたぐ場合(たとえば、事故発生は12月で、死亡が翌年の5月の場合)には、「事故発生年度」は、実際に事故が発生した年度と一致しないことになります。
- ③「学年」は事故発生時点の学年です。
- ④「死因」や「事故の概要」は、(独)日本スポーツ振興センターの報告をそのまま引用したものです。したがって、事故後の裁判等のなかで争われたこと、あるいは明らかにされたこととは、内容が異なる場合があります。そうした点については、この資料最下部に、適宜情報を掲載するというかたちで対応させていただきます。
- ⑤いわゆる「事件」性の高い事例として解釈されている件についても、ここではすべて用語上「事故」としています。
- ⑥「熱中症」には、『学校の管理下の死亡・障害事例と事故防止の留意点』に記載されている「熱射病」や「日射病」などが含まれています。

事例 ID	『死亡・障害事例』 〔～年版〕	事故発生年度	学年	性別	部活	事故の概要
heat 001	昭和60 (1985)	昭和58 (1983)	高1	男	ラグビー	〔熱射病〕 当日は、夏休み最後の練習日であった。本生徒は、8月5日から行われた今回の練習には参加していなかったが、当日初めて参加した。本生徒は、練習計画に従い他の部員と同じく練習をこなした。練習は午前11時30分から10分間の休憩をとって午後1時40分まで行われた。この日正午の気温は36.5度、湿度43%で午後1時30分2人一組のタックルを最後に100mの軽いジョギング、整理体操をして練習を終えた。午後1時40分頃1、2年生全員でグラウンド整地を始めたが、本生徒は、用具置場に進みそのまま校庭の端に設置したバリアードに突き当たり、よろけるようにコンクリートの仮設自転車置場にあおむけに倒れ、失神した。直ちに水で頭を冷やし、救急車で病院に移送し、手当てを受けたが6日後に死亡した。
heat 002			高1	男	レスリング	〔熱射病〕 レスリング部の合宿練習で当日は、早朝より練習が開始され、準備体操、3,000mのランニング、600mのジョギング、300m走を5回、その後の600mのジョギングの途中、ふらふらし始めたので、顧問教師が木陰に連れて行って休ませ、濡れタオルで頭部を冷やし様子をみていたが、8時前に意識不明となった。直ちに救急車を依頼し、病院へ入院、手当てを受けるも8月23日死亡した。
heat 003			高2	男	野球	〔日射病〕 当日は、3泊4日の日程で行なわれた野球部の合宿の2日目であった。午前9時に練習開始、最初にグラウンド3周、体操、ストレッチ、タイヤ引きダッシュ30m5往復、腹筋、背筋、腕立て各50回、もも上げ30回、更に腹筋、背筋、腕立て50回、タイヤ引きダッシュ50m5往復、バット回し前後各100回を午前10時まで実施、10時から、キャッチボール、トスバッティングを20分間、10時20分から内野ボール回し、外野ノックを20分間、10時40分から11時30分までは内、外野ノックを行い、全員がバックネット付近まで引き上げてきたとき、本生徒が以上を訴えた。このため、木陰に入って休むよう指示をし、タオルで冷やしながら救急車で病院へ移送、点滴、酸素吸入、その他医師の手当てを受けたが、夕方死亡した。

heat 004			高1	男	野球	〔熱射病〕 当日は、午後参加部員全員が、隊列を整え、グラウンドを20周ランニングし、その後4名ずつ13列一斉に5mダッシュ、10mダッシュ、各10本行い、20mダッシュ6本目の途中で本生徒は気分が悪くなった。水で頭を冷やしながらグラウンド横の体育館の日陰で2時間程休み、気分が回復したので軽くトレーニングを8人グループで始めた。本生徒は、トレーニング15分過ぎの縄跳びの種目のときに倒れ、けいれんを始めた。木陰に移し、頭部をタオルで冷やし、着衣、スパイク等を脱がし、近くの医院へ移送、手当ての上、更に市内の病院へ転送、治療を受けたが死亡した。
heat 005			高3	男	サッカー	〔熱射病〕 高体連主催によるリーダー養成講習会(サッカー)に参加、午前9時45分に会場に集合し、10時40分から練習が開始された。最初に体操、ステップ練習、短いダッシュを15分間、シュート練習を10分間、その後実戦練習の前半戦に参加、午後の試合は、前半・後半を通して参加し、午後2時30分頃終了した。解散後、シャワー室へ行き体を洗っていたところ、両脚がけいれんしたので、コーチがマッサージをし、頭部と体を冷やした。風通しの良い場所へ移動させ、缶入りコーヒーとパンを少し食べたが、監督、コーチが相談のうえ、大事をとり救急車を手配入院した。医師により、検査、治療が行なわれたが、けいれん発作を起こし容体が急変し、午後10時8分死亡した。
heat 006	昭和61 (1986)	昭和59 (1984)	高1	男	野球	〔熱射病〕 当日は午前9時から練習が開始され、グラウンド整備、ランニング、準備体操、キャッチボール、トスバッティング後、9時55分から11時20分まではフリーバッティングが行われた。その間、本生徒は、指名されて約10分間の守備練習にも参加していたが、内野手であったので、11時20分からの守備練習にも参加し、午後0時から、グラウンド内の長距離走(5.6km)に参加した。本生徒は12周ほど(約3.3km)走ったところで足がふらついて倒れそうになっていた。それを監督が気づき、走るのを止めさせ、OB2人がバックネット横の木蔭に連れて行き、静かに横にした。その後もう1人の生徒も倒れそうになったので同じく木蔭で休ませ、ぬれタオルで額を冷やすなどの手当をしていた。そのうち本生徒は意識がなくなり、呼吸脈拍とも速く、皮膚温も上昇した。養護教諭は、気道を確保のうえ、救急車の出動を要請した。その後、けいれんが起きた。倒れた生徒2人は、顧問教師同乗のもとに病院へ移送され、治療が行われたが、本生徒は、5日後に死亡した。
heat 007			中1	男	剣道	〔熱射病〕 午前10時30分から夏季練習が行なわれた。準備運動後、打ち込みなど一通りの基本練習を終え、約5分の休憩ののち、正午過ぎから1周約70mの館内のランニングを行い、10周目あたりで本生徒が座り込んだので、館内の端で休ませた。練習は午後0時40分頃終了し、本生徒は涼しい体育館玄関口で水や氷で頭部を冷やすなどの手当てを受けていたが、その後急に様子が変わり、意識を失ったので、救急車によって病院へ移送され治療を受けたが翌日死亡した。
heat 008			高1	女	バスケットボール	〔熱射病〕 夏季休業中の練習計画に基づき、午後3時より練習が開始された。準備運動(約30分)、フットワーク(約30分)の後、two men(2人1組によるオールコートランニングシュート)を行った。3分間に全員で83本のシュートを決めることになっており、Aチーム(8人)は3回、Bチーム(本生徒を含む9人)は2回行ったが、いずれも所期の目的を達成できず中止となった。1時間休憩後、5時30分ごろからtwo menの練習を再開し、7回を終了したが、午後6時40分頃であった。本生徒は2回目頃から走り方が鈍くなり、疲労の様子がみえたので、体育館外の木蔭で休憩させたが、終了直前の6回目ごろから、練習に自から復帰し、練習終了後、午後7時20分から30分の間に下校した。本生徒は、2年生部員に付き添われ下校したが、途中で気分が悪くなったため、駅までタクシーを利用し、電車に乗車したが、途中駅まで来て動けなくなった。このため救急車を依頼し、入院治療を受けたが死亡した。なお、医師は過激なる運動と熱射病による急性腎不全症と診断した。
heat 009			中1	男	テニス・ソフトテニス	〔熱射病〕 当日は、午前9時から町民グラウンドで練習開始、1年生は休憩20分を挟んで11時45分までボール拾い、素振り、乱打等の練習を行った。練習終了、整理運動後、生徒間で決めた申し合わせ事項に従い、前日、無断で練習を休んだ本生徒等1年生4人が、グラウンドの外周(1周約650m)の道路を走っていた。7周目になって本生徒に疲労が見られたので、キャプテンの指示で周回走を中止させたところ、近くの金網に倒れかかった。部員がぬれタオルで冷やす等応急手当てをし、学校に連絡のうえ救急車で病院へ移送し治療を受けたが、意識不明のまま翌朝死亡した。

heat 010			中1	男	サッカー	〔日射病〕 午後3時からサッカー一部の練習を開始、キャプテン以下25人の部員はランニングに入り、トラック5周(約1,000m)を走り練習の打合せ後、他の部員は予定どおり練習に入った。本生徒は夏休み後半から練習を休んでいたため、準備運動が不十分であったため、3時27分頃から再び運動場をマイペースでゆっくり走り続けた。3時45分頃、約1,500m走ったところで体がふらつき出し、後を走っていた野球部員が中止するよう声をかけた。本生徒はサッカーゴール際の木陰に足をなげ出したかっこうで座り休んでいた。1年生部員が交替で水を汲んできてタオルで汗をふいてやっていた。5時頃、本生徒の近くを通った生徒が本生徒の様子のおかしいのに気付知らせたので、顧問教師と養護教諭が駆けつけた。しかし意識不明の状態であった。直ちに救急車で病院(学校医)へ運び、救急治療を受けた後、市民病院へ転送され、救急治療室で治療を受けたが、日射病が原因で虚脱状態に陥り、急性心不全を起こして死亡した。(当日午前9時の状況は、晴、気温30度、湿度65%であった。)
heat 011			中1	男	柔道	〔日射病〕 当日は、午後1時から2時まで体育館で、館内5周のランニング、ポールを使用しての1人5回～7回のジャンプ練習、10mダッシュを5回程行い、午後2時からは運動場で指導者と200mトラック5周のランニング、100mリレーを行い、最後に軽く呼吸を整えるためグラウンドを歩いていた。本生徒は、先頭集団を歩いている間に急に倒れ、呼吸困難の状態となった。直ちに風通しの良い場所へ移動し、水で冷やし、校医が応急手当て(酸素吸入)をして国立病院に移送し、入院治療が行われたが、翌早朝死亡した。
heat 012	昭和62 (1987)	昭和60 (1985)	高2	男	剣道	〔練習中意識朦朧状態となる〕 夏季練習は、準備体操、素振り、切り返し、縦の切り返し、大きく基本打のかかり稽古、技の稽古、かかり稽古、地稽古、五人連続のかかり稽古の内容で行った。2回目の5人連続のかかり稽古の際、途中4人目で意識がもうろうとした状態になったため、中止させ防具をはずし横にさせた。(この間2時間10分程度)救急車で病院に運ばれ、治療を受けたが熱中症(熱射病)により多臓器不全及び重症感染症が併発し死亡した。
heat 013	昭和63 (1988)	昭和61 (1986)	高2	男	野球	野球部の夏季合宿4日日、運動場で20mダッシュ10本を行った。午前10時40分ごろ、右足が痙攣したため日陰で休憩。昼食時、弁当を2～3口食べたとき突然興奮状態となったので、クーラーの効いた教師の車で休ませた後、病院で受診したが、午後1時53分死亡した。
heat 014			高1	男	ハンドボール	ハンドボール部の夏季合宿で役10kmの集団走を行い、途中5km付近の所で徒歩休憩、さらに集団走行続行、9km付近で本生徒が倒れた。病院へ移送したが、翌朝死亡した。
heat 015	平成1 (1989)	昭和62 (1987)	高1	男	野球	野球部活動の夏季合宿練習の初日、本生徒は、準備体操後、屈伸運動後のランニング中約40分走った頃に身体がふらふらし始めた。これを知った教師は停止するように指示してベンチで安静にさせたが容態が急変した。病院に移送したが温熱卒中のため死亡した。
heat 016			高1	男	柔道	柔道部活動夏季合宿の2日目、朝食後準備運動を開始し寝技、打ち込み(背負い型)100本を実施した。本生徒は、40～50本行った頃から数を間違えたり、声小さくなったりしたが100本を終了した。しかし、その頃からしゃがみ込んだり言動がおかしいので、異常を感じ救急車を手配し救命処置を行ったが翌朝病状が悪化し死亡した。
heat 017			高1	男	野球	野球部の夏休み中の練習時、柔軟体操、キャッチボール、トスパッティング、ノックの練習後、川べりのコース(6km以上)のランニングに入った。前方を教師、後方を3年生部員がそれぞれ自転車付き添い、本生徒は後方を走っていたが約1時間位走って午後12時50分頃、足がもつれ尻から落ちるように倒れた。顔を叩いても反応もなく、ベルト、ボタンを緩め病院に移送し治療を受けたが死亡した。
heat 018	平成2 (1990)	昭和63 (1988)	高1	男	山岳	山岳部は、新人大会のコース実地調査の依頼で登山計画を立て、調査を行った。2日目、午前5時に出発、各ポイントごとに小休止を取りながら山行を続けた。途中、本生徒は足がつりそうになり他2名とともに遅れたが、大丈夫ということで歩き続けた。日差しも強くなったので帽子を借り、午後12時ごろ山頂に到着し30分ほど休憩。元気が回復したようであった。昼食予定地へ出発したが、先頭を歩いていた本生徒は、足を踏み外し滑落。本能的に切り株にしがみつき、引き上げられたが意識不明となった。通りがかりの登山者の無線で救助を要請したが、死亡。
heat 019			中2	女	バスケットボール	バスケットボール部活動時、本生徒は練習も終わりに近づいたところから疲れたようで、最後のストレッチ体操では、体操をせず両手で体を支えるように座って休んでいた。いつもと様子が違うので風通しのよい場所で休ませ、汗をふいたり手足をマッサージしていたが、意識が薄れてきたので、救急車で病院に移送した。翌日死亡。

heat 020			中2	男	バレーボール	バレーボール部活動時、本生徒はそれまで休んだ遅れを取り戻すためか、自主的にロードランニングに出た。1時間後顧問が本生徒の不在に気づき車で捜しに行ったが見つからず帰校。倒れているところを市民により発見され病院へ移送したが、翌日死亡。
heat 021			中2	男	ハンドボール	ハンドボール部活動時、準備運動ののち練習を行い、練習試合を行った。本生徒は、第一試合、第二試合とも参加、第二試合終了直前倒れたが、自力でベンチへ戻った。水を飲み頭部を冷やすように指示されて、水飲み場へ行くが途中で前のめりに倒れた。保健室へ運び頭部を冷やしたが、呼びかけに反応しないので救急車で病院へ移送した。意識不明に陥り死亡。
heat 022			高3	男	アメリカンフットボール	アメリカンフットボールの部活動時、練習を終え整理運動を行うため、グラウンドを1週したところで本生徒は突然倒れ、病院に移送したが翌日死亡。
heat 023			高1	男	野球	軟式野球部活動時、練習も終わり整理体操を終え、全員を集合させたところ、本生徒だけが元の位置でかがんでおり、異常に気づき、声を掛けしたが返事がなく、突然膝と手を地面に四つんばいになって約55メートル小走りする程度の速さではっていき、力尽きるように倒れた。顔面蒼白、呼吸も激しく苦しそうなので病院に移送、更に病院の判断で転院したが翌日死亡。
heat 024	平成3 (1991)	平成1 (1989)	高1	男	柔道	柔道部の活動中、準備運動後、1周約400mのトラックを全員で5周、各自のペースで走った。その後ダッシュ練習に入り15mX8本、50mX6本、100mX4本、200mX2本、400mX1本を行った後、追い抜きダッシュを行い、1周目の終わり辺りで本生徒は足もとがふらつき、うずくまるように倒れ気を失った。倒れた後、目を覚まさせようと顔面に水を掛け、意識が戻った後格技場へ移し涼しいところに寝かせ、氷で顔を冷やすなどの手当てをして回復を待ったが、倒れてから8時間後容体が急変、救急車で病院へ移送されたが死亡した。
heat 025			高1	男	サッカー	サッカー一部の合宿2日目に、1時間30分ほどの基礎練習、筋力トレーニングとダッシュを内容とする練習を終了。整理体操に移ろうとしたとき、「しんどい」と言って崩れるように座り込み、救急車で病院へ移送されたが死亡した。
heat 026			中1	男	野球	野球部の夏季休業中の練習を県民運動場で行い、午前9時から練習計画に従って活動し、11時の2回目の休憩時に教師の許可を受けて50mほど離れた用水路へ手と顔を洗いに行った。戻る途中、堤防の上段で気分が悪くなって座り込んだ。部員の通報で直ちに教師と部員1名が駆けつけ、声を掛けると応答もあつたので、現場で頭や顔をぬれタオルで冷やしていたが、次第に意識が薄らぐので、同じグラウンドで練習をしていたソフトボール部の教師に連絡。近くの公衆電話から救急車を要請。11時30分ごろ救急車で病院に移送したが死亡した。
heat 027			中1	男	卓球	卓球部の活動中、3時間半の練習終了直前に本生徒がふらふらと倒れそうになったので抱きとめ、その場に寝かせぬれタオルで冷やし、養護教諭を呼んで身体を氷で冷やす一方、校医の指示を受け、校医到着を待つ間に保健室へ運んだ。診察の結果熱中症と診断、身体を冷やすことに専念。その後母親に来校してもらい、様子を見ていたが容態が落ち着いてきたので母親の車で下校。下校後安静にして様子を見ていたが、意識が薄れうわごとを言う等の状態になったので校医に相談。救急車で病院に運んだが翌日死亡した。
heat 028	平成4 (1992)	平成2 (1990)	高1	男	陸上	陸上部の夏季合宿において、3日目まで特に変わりもなく、日中の日ざしを避けて、16時より、9キロメートルのロードレースを行った。本生徒は快調に走り、チームメイトに励ましの声を掛けるなどしていたが、約8キロメートルの地点で、走る様子に異常が見られたのでOBに止められた直後、その場に倒れ、待機していたマイクロバスで宿舎に向かい、救急車で病院へ移送したが翌朝死亡した。
heat 029			中2	男	剣道	夏休みの剣道部活動時、準備運動、基本練習、互格けいこ、掛りけいこ、基本練習、そして最後の切り返し練習のときに、本生徒がフラフラしているのに上級生が気づき、休むように声を掛け、体育館入口まで行ったところで倒れ込んだ。顧問が面を取って休むように指示し横に、して休ませた。全員で座礼したあと声を掛けたが意識がなく、濡れタオルで冷やし救急車で病院へ移送したが8時間後死亡した。
heat 030			高2	男	剣道	剣道部活動時、練習状況より30分短縮し終了した直後、本生徒が倒れ頭や体を冷やし、救急車で病院に移送し、経過良好と見えたが、2日後急変し、死亡した。
heat 031			中1	男	サッカー	夏季休業中のサッカー一部の練習で、9時10分から1,000メートルのランニング、基礎練習を行い、10時10分から15分間休憩。10時25分から、3対3の攻防とシュート練習のあと、2,000メートルのランニングを行った。本生徒は、途中歩きながらも走り終えて、自力で木陰まで歩いて行って休んだ。他の部員は、整理体操を始めたが、顧問の指示で休んでいた本生徒がふいに横に倒れたので顔や頭を水で冷やし、救急車で医療センターに移送したが、17日後死亡した。

heat 032			高2	男	野球	夏休みの野球部練習終了後、水を飲み、頭に水をかぶっていたとき、気分不良を訴え、顧問の車で近くの医者へ行く途中意識がなくなり、医師の指示により救急車で病院へ移送したが、翌日死亡した。
heat 033			高2	男	ラグビー	ラグビー部の合宿(7泊8日)最終日、午前練習を始めて1時間30分経過したころ、足元がフワフワしてグラウンドに倒れ呼吸が荒くなったので、過呼吸と判断し応急処置を行うが良くならないので、診療所に受診、施設がないので転医したが死亡した。
heat 034			中2	女	ボート	夏休みのボート部の練習で、準備運動、20分間走、エルゴメーター測定器でトレーニングしたあと、ロードワークで約3.5キロメートルでふらふらし始め、道路一杯をジグザグに走った後、前のめりに倒れ、起き上がって再び倒れた。様子を見ていた通りがかりのドライバーと後続の男子部員で学校に移送。意識混濁、脈拍・呼吸ともに早く、発汗多量、四肢硬直等があり、医療機関へ運んだが翌日死亡した。
heat 035	平成5 (1993)	平成3 (1991)	高1	男	ラグビー	ラグビー部の合宿4日目に、体操の後ランニングパス20本を始めた。17本目あたりから遅れだし座り込んだ。呼吸が苦しうなので診療所に運び、点滴、酸素吸入を受けながら病院へ転送され、更に転院したが死亡した。
heat 036			高1	男	ラグビー	ラグビー部の練習中、足がふらつきだしたので休ませ、水を与え、体にも掛けさせて座らせ、脈、呼吸にも異状なく話をしていたが、意識が薄れていき目もうつろになってきたので救急車で病院へ移送した。
heat 037			高1	男	野球	野球部の練習が終わり、グラウンド整備中に気分不良を申し出たので、涼しい日陰のベンチで休ませ、ミーティング終了後解散し、気をつけて帰るように指示して帰宅させた。学校前の店でジュースを飲み、しばらく自転車で走ったところ道路端に倒れた。けいれんがあったので救急車で病院へ移送、設備のある病院に転院したが11日目に死亡した。
heat 038			高1	男	野球	夏の野球部の練習を13～18時まで休憩を挟みながら行いミーティング終了直後、気分不良を訴えたので風通しのいいところに寝かせ、脱衣、頭部冷却、水分補給をして、救急車で近医へ移送、更に転院したが翌朝死亡した。
heat 039			高1	男	野球	野球部の練習中、ランニングをしていて倒れ、マネージャーが駆け寄ったがそれを振り払い、ランニングを続けようとして30メートルほど走った地点で再度倒れ、意識不明となった。応急処置を行い救急車で病院へ移送したが死亡した。
heat 040	平成6 (1994)	平成4 (1992)	高2	女	陸上	陸上部の夏合宿の初日、学校外の運動場でオリエンテーション、ウォーミングアップの後、本生徒は400メートルトラックでウェーブ走を45分間(13～14周)行い、400メートルトライヤル(5本中1本目中断、2、3本目は行わず、4本目完走、5本目行わず)を実施した。クーリングダウンのジョギングを1周目休んだ後、2周目から合流したが、第2コーナーを過ぎてふらふらと倒れた。日陰で冷たいタオルで拭いてもらい、手足のマッサージを受け、氷を食べた後、部屋のベッドで休んだ。約2時間後、他の部員が声を掛けると返事をしたが、床に倒れているのを発見され、救急隊が駆けつけたが手の施しようがなかった。
heat 041			高1	男	野球	運動場で野球部活動時、最後のノックを終えたところ、本生徒がかなり疲れている様子だったので、その場に休むように指示した。呼吸が苦しうで意識がもうろうとしていた。呼び掛けると反応がみられたが、けいれんを起こし始めていたので、応急処置を行い救急車で病院へ移送したが、4日後に死亡した。
heat 042			中1	男	野球	運動場で野球部練習中、ベースランニングの際、本生徒は壘間10往復程度走って本塁手前20メートル程のところ、つまづくように手をついて倒れた。すぐに立ち上がり走ろうとしたが、脚がもつれるようになり、1.2歩踏み出して再び倒れた。意識不明のまま救急車で病院へ移送したが死亡した。
heat 043	平成7 (1995)	平成5 (1993)	高3	男	柔道	柔道部活動で高等学校合同練習に参加中、本生徒は、予定の練習を終わった直後の午後4時過ぎ、気分の悪さを訴えて倒れたので、風通しのよい場所に移動し、水分を補給し様子を見ていたが、けいれんを起こしたため、救急車で病院へ移送、治療を受けたが7時間後に死亡した。
heat 044	平成8 (1996)	平成6 (1994)	高2	男	山岳	本生徒は、山岳部活動として県高等学校体育大会登山競技に出場し、2日目、〇山頂を目指していたが、午後1時10分頃、本生徒が足を痛めたため、20分休憩し、サポート隊に本生徒の荷物を預けて再び登り始めた。それから約30分後、本生徒は前のめりに倒れた。指導者が応急手当をし、折から登山中の医師の診察を受け緊急救助の要請を行ったが間に合わず、午後5時、死亡した。
heat 045			高2	男	アメリカンフットボール	アメリカンフットボール部活動時、8月6日朝11時から45分間ウォーミングアップの後、12時から他校との練習試合を行った。当日は、気温が高いため1クォーター10分を8分に短縮して試合が行われた。第4クォーター4分過ぎになって本生徒の足の動きに異常が見えたので、本生徒は監督の指示で交替、休憩。1時55分試合が終了し整理体操には加わったが、その途中で立っていられなくなったため更衣室に運び、救急車で病院へ移送、治療が行われたが、5日後死亡した。

heat 046			高1	男	サッカー	サッカー一部活動時、8月2日から4日まで行われた高校3校による合同合宿に参加した本生徒は、2日目の最終練習メニューである1周4キロメートルのランニングコースを2周する練習の2周目の3分の1を通過した地点で倒れた。1度起き上がり走ろうとしたが、再び倒れ意識を失った。生徒の手配した救急車で病院へ運び治療が行われたが、翌日死亡した。
heat 047			高2	男	山岳	山岳部活動時、夏山合宿の4日目、本生徒は疲労が見え、歩行困難となったため幕営、元気を回復した。翌朝、本生徒の荷物は他生徒が分担して出発したが、間もなく自力歩行が困難となったため、教師等が救助隊を要請に下山、同日午後飛来したヘリコプターにより病院へ収容、手当が加えられたが、病院に着いてから約50分後に死亡した。
heat 048	平成9 (1997)	平成7 (1995)	高2	男	ラグビー	夏期休業中、ラグビー一部活動で県外合同練習の際、本生徒は、他校チームとの25分ハーフ試合に参加、その後日陰で20分ほど休憩、ミーティング、更衣、給水などを済ませ、次の試合まで2時間以上あるので30分のランニング練習に入った。60メートルグリーブ層の途中、指導教師が本生徒の顔色が悪いのに気づき、中止を指示、日陰に横にさせたが吐き気が続くため、救急車を要請、病院に搬送し治療が行われたが、翌日夜死亡した。
heat 049			高1	男	レスリング	夏期休業中、他の高等学校を会場として行われたレスリング部合同合宿の4日目、朝7時から練習を開始し、準備運動、ランニング800メートル、神社階段101段10往復、階段ダッシュ上り7回、ランニングで高校グラウンドに戻り、相手を背負い50メートル、相手を抱えて50メートル歩いた後、本生徒は、教師に気分が悪いと申し出たが、終了まで残り20分を続けさせた。間もなく本生徒が倒れたので木陰で休ませたが意識もはっきりしないため、救急車を手配、病院に搬送し治療を受けたが、約8時間後に死亡した。〔解剖所見〕肺・消化管その他の広範な出血
heat 050			高1	男	サッカー	夏期サッカー一部活動で、前日のペナルティーがあったため、1年生8名が1周400メートルのグラウンドの周辺を走った。走り出して1時間経過した終了に近い頃、本生徒を含めた6名は木陰をゆっくり歩いていたが、本生徒は一度座り込んだ後、再び立ち上がって約200メートル走ったところでふらふらと倒れた。部員が日陰に運んで冷やしたが、脈拍、呼吸は荒く、意識が朦朧としているので、救急車を要請、病院に搬送し治療を受けたが、3日後死亡した。
heat 051			中1	男	野球	当日、午後1時から運動場で野球部の練習を行った。本生徒は、トラックを駆け足でランニング中、5週目で気分が悪くなり立ち止まった。救急車で病院に搬送され、10日間入院治療を受けたが、病状急変して死亡した。
heat 052			中2	女	剣道	各議場で県道部活動中、準備運動として、ウォーミングアップ、素振り、足さばき、打ち込みの練習を行った。本生徒は、準備運動終了後に気分の不良を訴えた。顧問教師は、「やれるところまでやるように」と指示、15分休憩後、基本練習を始めた。5分後、本生徒がおう吐したため、更衣室で休ませたがおう吐は止まらなかった。その後、2時間ほどで部活動が終了し、本生徒は保護者に迎えに来てもらい、車で自宅へ帰った。自宅で静養していても回復しないため、救急車で病院に搬送、治療を受けたが翌早朝死亡した。
heat 053	平成10 (1998)	平成8 (1996)	中2	男	柔道	柔道部活動で他校と3日間の夏期合宿を行っていたとき、最終日の朝練習で準備体操後、野外走やダッシュ等をほかの部員よりも軽めの距離や時間で行った。整理体操後、朝食と休憩になり本生徒はお茶を飲み朝食は取らずに休憩していた。しばらくして体調が急変し拳動不審になったので、教諭が畳の上に寝かせたところ、けいれんを起こして昏睡状態になった。救急車を要請し、病院へ搬送し治療を行ったが翌日死亡した。
heat 054	平成10 (1998)	平成8 (1996)	中2	男	野球	野球場での野球部活動時、球場の整備後9時50分よりウォーミングアップを開始し、実施後、休憩のためベンチに向かっている時、本生徒の足どりがふらふらしているのに教師が気づき一塁側グラウンドに寝かせた。意識が薄らいできて足にけいれんを起こし始めたので、救急車を手配しその間、気道を確保し、頭部を冷やして救急車を待ち病院へ搬送、治療したが翌朝死亡した。
heat 055			高3	男	剣道	試験明け休みの剣道部活動中、10時30分より練習を開始し、昼休みを1時間半と午後15分の休憩を取り5時40分まで練習をした。5時40分からは顧問教諭がけい古や大会について話をしていた。7時に練習を再開し、掛りけい古から1本勝負に入り3人目と対戦中、突然具合が悪そうに同乗の隅に寄りかかり腰を落としてうずくまった。姿勢を立て直すのも無理なようだったので横になって休むよう顧問が指示した。それから10分後に練習が終了し本生徒の様子を見たところ、意識等に異常が見られたため公用車で病院へ搬送し治療をしたが約1時間後に死亡した。
heat 056			高1	男	野球	夏期休業中の野球部活動時、学校外周道路を10周するランニングトレーニングの10周目の途中で倒れた。一度は自分で起き上がりよろよろ歩いたが再び倒れ、後ろを走ってきた部員2名に支えられ歩いたが田に落ちそうになった。日陰に横たえさせ応急処置を行い、救急車で病院へ搬送し治療したが意識が戻らぬまま8日後に死亡した。

heat 057	平成12 (2000)	平成10 (1998)	高3	男	ラグビー	ラグビー部活動時、グラウンドでランニングをしていた。その後、水分補給をかねて休憩し、前日の指導の内容を復習しながら各自練習していた。本生徒の様子が変なので練習を打ち切り、副キャプテンと帰るように指示したが、様子がさらに悪化し、自力では座れない状態になったため、救急車を要請し治療を受けたが、3日後に死亡した。
heat 058			高1	男	バレーボール	バレーボール部活動時、友人と一緒に下校中、友人が校門の前でジュースを買っている時、後ろで自転車の倒れる音を聞き振り返ると、本生徒が傾いた自転車を足で支えていた。上り坂に差し掛かったところ、ふらついて自転車を押しながら歩いていたが、2・3度倒れそうになりながらも、上り坂を上がった。そして、後ずさりしながら後ろに倒れた。友人が渡したジュースを一本飲んだ後、意識がなくなりけいれんを起こし、救急車で病院に搬送したが、2時間後に死亡した。
heat 059			高1	男	野球	野球部活動時、ランニング、ストレッチ、ダッシュ、キャッチボール、バッティングをし、個人ノックを受け、休憩を取り、水分を補給した。練習を再開し、最後にベースランニングを行っている時、ふらふらしているのを上級生が気付き、ベンチに運んだ。下を向いて苦しうだったので、上を向いて寝るよう指示した際、転がるように滑り落ちた。保護者と他の保護者(医者)が駆けつけ、声を掛けたが、返答がはっきりしないため、直ちに救急車で病院に搬送したが、2時間後に死亡した。
heat 060			中2	男	剣道	剣道部活動時、練習中、本生徒が外に出て武道館前で気分が悪そうにしゃがんでいるところを練習に立ち会っていた保護者が見つけた。武道館に運び入れ、着衣を緩め、頭を冷やすなど応急手当をしたが、意識が朦朧としてきたため、救急車を要請し病院に搬送したが、翌日死亡した。
heat 061			中2	男	柔道	柔道部活動時、他校武道場で合同練習をしていた。準備運動をして、寝技、投げ込みの練習後、乱捕りの練習を始めた際、本生徒が疲れた様子なので、教諭が休憩するよう指示した。意識がもうろうとし始め、右手に硬直が見られたため、救急車を要請し病院に搬送し治療を受けたが、翌日死亡した。
heat 062	平成13 (2001)	平成11・12 (1999・2000)	高専2	男	野球	野球部の夏合宿の4日目、現地の最高気温が35度の晴天の中で練習を終えた後、6km離れた宿舍まで上級生に付き添われながらジョギングして向かった。途中、歩いたり水分補給しながら宿舍に到着し、水のシャワーを浴びるところから、ほん生徒の会話の返答から様子の異常に気付き、浴室から部屋まで運んだ。その時、呼吸が苦しうようになったため、枕をはずし顎(あご)をあげて気道確保に努めた。しばらくすると呼びかけても反応が無く呼吸が激しくなったため、救急車を要請した。その後、搬送された病院で治療を受けるが回復せず死亡した。
heat 063			中1	男	ラグビー	本生徒は、ラグビー部の練習に参加中、ランニングパス・キックダッシュ・ハンドリングなどの練習を行った。その間、チーム全体に集中しない状況が見受けられたので、3回キックダッシュを行った。本生徒は1、2本目のときから歩くより少々速い程度の走りであり、3本目のときは、少し遅れてスタートし、コース中央付近で足の痛みを訴え、ゴール後、よろけて他の生徒にしがみつき、膝をついて倒れ、仰向けの格好になった。その後、練習場所に移動し長座させた本生徒の様子は「あーあー、うーうー」というような息づかいの状態であった。このため、本生徒に冷茶を口に含ませ、身体を冷やすよう他の生徒に水場に連れて行かせた。その時、仰向けになっている本生徒の様子がおかしいことに気付き、保健室に運んだ。そこでは、うなり声のような呼吸に変わり、瞳孔が開いた状態だったため、直ちに救急車で病院に搬送した。搬送後、原因がはっきりしないため転院したが、翌日死亡した。
heat 064			中2	男	野球	野球部の練習は、午前中、河川敷野球グラウンドで行われていた。ストレッチ・キャッチボール・長めのランニングを行い、試合形式のノック練習等が続き、5分程の短い休憩があり、本生徒は給水を取った後、5kmのランニングに入った。本生徒は、3km付近のところで意識を失い倒れた。直ちに救急車で病院に搬送され、治療を受けるが同日死亡した。
heat 065	平成14 (2002)	平成13 (2001)	高1	男	柔道	隣接校3校による柔道の合同練習中、通常の経路を自転車で下校中、気分が悪くなり歩道上で倒れていた。脱水症状をおこし死亡した。
heat 066	平成16 (2004)	平成14 (2002)	高1	男	山岳	本生徒は山岳競技に参加していたが、縦走コース地点から約150m進んだところの登山道脇5mくらい下にうつ伏せに倒れている状態で確認された。ヘリコプターで現場から直接本生徒を吊り上げ、河川敷から救急車で医療機関に搬送し、検査・治療が行われたが、熱中症による急性多臓器不全により翌日死亡した。

heat 067			高2	男	剣道	本生徒は、8時半に格技場に集合し、剣道部の部活動を始めた。準備運動、素振り200本の後、練習に入り、夏休み最後の学校での練習ということで、特に気合いを入れて練習を行った。11時に10分休憩を入れた後、試合形式の練習に入ったが、本生徒はかなり疲れた様子で、ふらふらしたり倒れこんだりしていた。意識が朦朧としていたので、面をはずし、胴を脱がせ、練習場の横の方で、水を与えたり扇風機をあてたりして休養・経過観察をしていたが、その後、意識レベルの低下、失禁などが見られたため救急車を手配した。救急車にて医療機関に搬送し、人工透析などを試みたが、同日死亡した。
heat 068	平成16 (2004)	平成15 (2003)	高2	男	剣道	練習を開始して2時間経ったころ、本生徒は疲れた様子で、ふらふらしたり倒れこんだりしていた。意識がもうろうとしていたので、練習場の横で休ませ、経過観察をしていたが、その後、意識レベルの低下が見られたため、救急車を手配し、医療機関に搬送した。
heat 069			高2	男	相撲	相撲部活動中、本生徒は、ぶつかり稽古を終え、外へ出て長椅子に座ると同時に、あおむけになった。心配した他の生徒と教諭が水分を補給させたが、次第に意識がもうろうとし、けいれんがあったため、救急車で病院へ搬送された。集中治療室で治療を受けたが、体温が下がらず、翌日死亡した。
heat 070			高2	男	レスリング	レスリング部の練習終了直前、本生徒がふらついたので、顧問が練習を止め、座らせて水を飲ませようとしたが、吐いたまま意識を失った。直ちに救急車で病院へ搬送されたが、42度の体温が下がらず、翌日亡くなった。
heat 071			高1	男	サッカー	本生徒はサッカー一部の練習に参加していた。16時頃より練習が開始され、紅白戦10分×2本を行い、休憩の後、1年生は体力作りのため、約5kmのロードワークに出た。本生徒は、3～4番目を走っており、途中では特に異変は見られなかったが、ロードワーク終了間際の校門近くで、本生徒が倒れては起き上がり、ふらついているところを後方から走ってきた他の生徒が発見した。声を掛けると「大丈夫。」と応えていたが、その後、下校途中の生徒から本生徒が倒れていると連絡があり、職員が駆けつけた時には、呼吸がとてども荒く、パニック状態であった。本生徒は、駆けつけた体育教諭の指示で要請した救急車により医療機関に搬送され、救急処置が施された。体温が高く、集中治療室に移動して治療が続けられたが、翌日(発生から約16時間後)に死亡した。
heat 072			中1	男	バスケットボール	当日、本生徒は体育館(3階)において、バスケットボール部の練習を行っていた。4階ギャラリーを数周走り、3分間のゲームを30分ほど行った。その後、本生徒はタイムキーパーの仕事をしていたが、具合が悪いと言って交代し、水を飲んだところ嘔吐してしゃがみこんだ。顧問教諭が気づき、他の生徒に涼しいところへ移動させるよう指示したが、約5分後、名前を呼んでも返事をしないと連絡があり、状況を確認後、すぐに母親に連絡を取った。4回ほど嘔吐したので、嘔吐物が喉に詰まらないようにし、母親到着後、母親の車で医療機関へ搬送した。医療機関では、集中治療室にて治療を続け、手術や人工透析なども行ったが、2日後には脳死状態となり、発生から3日後に死亡と診断された。
heat 073			中2	男	相撲	屋内稽古場(相撲場)にて、相撲部の練習を行っていた。練習メニューの最後に当たる「ぶつかり稽古」をしていたところ、本生徒の足がふらついたのでコーチが途中で練習を止めさせ、顔を洗い休むように指示した。本生徒は指示通り水道の蛇口へ向かう途中で突然倒れた。部員や練習を見ていた保護者がすぐに抱き起こし、濡れたタオルで体を冷やし、声をかけたが、はっきりとは反応しないため、コーチが学校医に連絡をとった。学校医の診断を受けたが、意識が戻らないため、すぐに救急車の手配をした。到着した救急車には、仕事帰りに練習を見にきた父親が同乗し、本生徒は医療機関に搬送された。CTスキャンの検査を受け、集中治療室で体温を下げる治療を受け、翌日には体温も下がり、意識もはっきりしてきてはいたが、翌々日の早朝に容態が急変し、発生から3日後に死亡した。
heat 074	平成17 (2005)	平成16 (2004)	高1	男	柔道	午前10時より柔道の部活動を行っており、準備体操、寝技、ミーティング、乱取稽古をした後、12時50分ごろから打込稽古を2人一組で行った。12時55分ごろ監督が技の指導を行った際、他の方向を見て返答するなど様子がおかしかったため練習を中断し、水分を補給させ休ませた直後、痙攣が始まり心肺停止状態となった。
heat 075	平成17 (2005)	平成16 (2004)	中2	男	ハンドボール	ハンドボール部の練習中にダッシュをしている際、他生徒より遅れているように思えたので、顧問教師が本生徒に休憩するよう声をかけた。女子ハンドボール部の顧問が本生徒に付き添って水筒のある場所まで歩いて座らせたが、水を飲ませようとした時に本生徒の意識がなくなりかけた。直ちに全身を冷やすとともに医療機関へ搬送したが、発生から30日後に死亡した。
heat 076			高1	男	野球	午前9時から運動場で、野球部の練習を開始した。午後2時30分ごろ、タイヤ押しの3往復目に入ろうとしたところで、本生徒がきつそうだったので監督が腰を下ろさせた。本生徒は、改めてタイヤを押そうとしたが、押せずに仰向けの状態になった。

heat 077	平成20 (2008)	平成19 (2007)	中2	男	バスケットボール	体育館で2時間に渡ってランニング11周、ストレッチ体操、腕立て伏せ、腹筋・背筋20回×3セット、フットワーク、コースチェック、ドリブル、ダッシュ等の練習が行なわれ、途中で5~10分の給水のための休憩を2回入れた。練習終了後に片付けを終えて自分の荷物を取って体育館へ向かったときに、よろめいて床に倒れこんだ。応急手当と並行して救急車を要請し、病院へ搬送したが意識を回復することなく、後日死亡した。
heat 078			高3	男	ラグビー	強化練習最終日の最後の練習メニューで4人1組で行う1時間ランニングパスのラスト2往復の往路で、足元がふらつきだしたので、折り返しのゴールラインにいた顧問が止めに入ろうと近づく。その最中、パスを受けようとしたが失敗し、大きくふらついた。顧問教諭と後から加わった2人で本生徒を日陰に連れて行き、グラウンドの柵にもたれさせた。このとき、腕等には発汗が確認された。頭と首に水をかけ、水を飲ませようとしたが、一口飲んだ程度で、すぐに氷で首とわきの下を冷やすが座った状態で意識を失った。救急車で病院に搬送したが後日死亡した。
heat 079			高1	男	ハンドボール	合同合宿中の4日目、試合等の後ミーティングをし、クーリングダウンのランニングを開始したところ、150~200m走ったあたりで倒れた。意識が不鮮明で、脈はかなり早かった。救急車が到着するまで気道を確保し、服を脱がせ、アイシングを行い体温を下げる処置をした。病院に搬送したが、同日死亡した。
heat 080	読売新聞 2009.08.23		高2	男	剣道	午前9時頃から、本生徒はほかの部員7人と道場で練習を始め、顧問と副顧問の教諭2人の指導を受けていた。練習は休憩を挟みながら続き、途中で突然倒れた。教諭らが防具を外し、額を氷で冷やすなどの処置をしたが、意識はもうろうとしたままだった。部活の練習中に倒れ、約7時間後に死亡した。(『読売新聞』西部版2009年8月23日付(朝刊)の記事内容から個人情報を取り除いて編集した。死亡見舞金の支払い手続きが遅延しているため、現時点では新聞報道の記事内容を参照した。)
heat 081	平成21 (2009)	平成20 (2008)	高2	男	柔道	強化合宿に2日間の予定で参加していた。2日目、約50分間程度行われていた早朝トレーニングでジョギング等をした後に宿泊棟の階段付近で倒れているところを発見された。病院に搬送し処置を行うものの、人工透析のできる病院へ搬送。集中治療室で治療を続けたが、症状が回復することなく、後日死亡した。
heat 082			高3	男	サッカー	ウォーミングアップ後基本練習を約1時間行い、ゲームを40分間実施。その後、縦横に20mのコーンをセットし、2往復×5セット行った。2セット終了後の休憩中、突然本生徒が倒れた。すぐに救急車で救急搬送し、意識の回復が見られないまま、約8年後に死亡した。
heat 083	平成22 (2010)	平成21 (2009)	高2	男	野球	終日の部活動に参加し、メニューは午前中にウォーミングアップ・壘間ダッシュ・捕球基本動作ドリル・キャッチボール・守備練習。12時30分から1時間の昼食休憩後、バント練習・打撃練習・素振り・ポール間走を行った。メニューの変わり目毎に休憩時間及び水分補給時間を設けていた。学校では特に変わった様子はなく自転車で下校した。一旦帰宅後、自宅前(外)で倒れた。本生徒のうめき声に隣人が気づき、119番通報し、病院に搬送されたが、同日死亡した。当日の最高気温33.5℃薄曇りで湿度は高めだった。
heat 084			高1	男	剣道	合宿中に、剣道場でかかり稽古をしていた本生徒は練習が終了し、正座のまま防具を外した後に横に倒れた。反応が鈍く、すぐに防具を外し稽古着を緩めて、氷で脇下と首の後ろを冷やし頬を叩きながら呼びかけ続けた。冷房のある部屋に運び、同様の処置を続けたが、意識がはっきりしないので、救急車を要請し、病院に運ばれたが同日死亡した。
heat 085	平成23 (2011)	平成22 (2010)	高1	男	柔道	柔道部練習中、午後最後のトレーニング中、熱中症で倒れた。救急搬送後、病院で処置を受けるが、数日後死亡した。